

消火活動に携わって

深町消防団員

林 正行

今年の猛暑は、三十年来と云われています。水不足は深刻になり、まだまだ大量の水が期待出来る時期は定かではありません。

こんな時、火災が発生したら大変だと思っていた矢先、深町下組の山火事、竹原、因島と次々に発生しました。深の火災は、近くに溜め池があり、それを利用して放水し、火事は早期に消火することが出来ました。消防署の四丁消防車が水タンクを積載し、応援に来ましたが、道が狭く途中から入る事ができず、使用できませんでした。今回の場合、水を使用しなくても鎮火したことを幸いに思うとともに、もし民家であって水不足が生じていたらと一抹の不安が残ります。

竹原の林野火災には、深町分団も消火活動に参加しました。山に入るとよく見ると、芝が沢山積み重なり表面を消しても、水が不足しているため、下の方はまだまだ火が残っている状況で、十分な消火にならず、

法隆寺

西本 頤

法隆寺は、世界最古の木造建築といわれています。金堂は重層入母屋造りという建物で、室内には止利仏師がつくったという釈迦三尊像、薬師如来像、阿弥陀如来像、四天王像など有名で大事な仏像がおりてあります。

五重の塔は金堂の西に建っています。高さは約三十二メートルで、上にむかうほど層が小さくなっていました。ぼくはさすが高く高いのによく安定しているなあと思いました。

八角形の形をした夢殿も見ました。中にある仏像は、いつもはとびらがしめてあって見られないとバスガイドさんが云っていましたが、不思議なことに見ることができました。ぼくは運がよかったなあと思いました。それにしても大昔のものがよく残っているなあと感じました。

風とともに再燃し続けました、山は樹木が生い茂り、適切な道具を持参しないと進めないという状態です。

火災は常に状況が違うので、臨機応変に対応する必要があると痛感しました。

火災が発生したら、早期に一一九番通報し、初期消火が万全であったか否かにより、大火災になるか、小火災で済むか決まります。平常日の昼間の火災発生時は、団員の皆さんも少なく、住民の皆さんと一緒に頑張って消火活動をしてはなりません。皆さんご協力の程よろしくお願いいたします。

東 十八 寺

頼兼宏明

一日めの最後の見学は東大寺です。南大門を通過して大仏殿に行きました。

南大門はとても大きくて、使っている柱一本で、小さな家なら一けんできるくらいだそうです。修理が終わったばかりの仁王像もとても大きくりっぱでした。

大仏がある大仏殿は、思ったより暗く、大仏も大きく見えませんでした。大きな柱に大仏の鼻の穴の大きさがあけてあり、その中をくぐりました。するすると通りぬけられたのでよかったです。

鹿もたくさんいました。鹿せんべいを買ってみんなであげました。ガイドさんが「せんべいを上にあげたら鹿がおじぎをするよ」と教えてくれたのでやってみると、本当におじぎをするように頭をふりました。よく人になれていてかわいかったです。

協力ください

深町女性会

きれいな町づくり運動の一つとして、三原女性会連合会では、年二回クリーンデーを設けてゴミ拾いを行っています。今年十月二日に行います。たくさん参加を期待しています。(前回は六十二人の参加がありました。内小学生二

人が加わってくれました) 県道沿いに捨てられるゴミは、毎回、四十袋から五十袋あります。地域からの持ち込みもあると思いますが、たいへんな数です。「決められた日に」「決められた所に」「決められた方法で」出すことを心がけましょう。

各種団体九月行事予定

- ★小学校
- ▼始業式9/1▼運動会9/25
- ★尚寿会
- ▼ゲートボール大会参加・J A大会・備三地区大会9/月▼秋期旅行・鳥取東郷湖9/E
- ★女性会
- ▼親睦会・上9/24・中9/3
- ・下9/2▼今年敬老会中止代わって自宅訪問します。
- ★子供会
- ▼市子連ソフト大会9/11
- ★町内会
- ▼下組・綱掛川境界立ち会い▼上遊歩道草刈り▼町民運動会9/25
- ★学園移転協議会
- ▼役員会9/3・総会9/10

三十度を越す猛暑の連続が二カ月以上続く。当然水不足で、三原市も時間給水となった。それに加えて農作物への影響も累段階で四十億以上とか報じられる。当深町も例外でなく水不足のため、お盆行事の一部と敬老会行事も中止に追いやられた▼水をめぐるとラブルもあちこちで聞かされた。昔から水の配分は生活の知恵としてルール化され現在に至っている。が、時にこのルールを破る人が出る。▼これが我田引水としてトラブルの元となる。最低レベルとしてこのルールを守ること。次のレベルは互助の精神を働かすこと。この二つを心がければ水争いなんて低次元の争いは無くなると思うのだがどうであろう。▼誰もが一滴でも水がほしいこの時に、「困ったときはお互いに」と、自分の持ち分を譲った話も聞きました。人間の大きさを感ぜさせますエピソードです。▼前号から小学六年生の修学旅行記を載せています。全員書いてくれました。順次載せる予定です。☆☆☆☆